

調停(審判)の進行に関する連絡メモ

この書面は、調停(審判)を進めるための参考にするものです。

あてはまる事項にチェックを付け(複数可)、空欄には具体的な事情を記入して、
申立の際に、提出してください。

この書面は、閲覧・謄写(コピー)の対象とはしない取り扱いになっています。

1 調停(審判)の進行について

(1) この申立てをする前に相手方と話し合ったことがありますか。

ある (そのときの相手方の様子であてはまるものにチェックしてください。)

感情的で話し合えなかった 冷静であったが、話し合いはまとまらなかった

態度がはっきりしなかった その他()

ない (その理由をチェックしてください。)

感情的で話し合えなかった 冷静であったが、話し合いはまとまらなかった

態度がはっきりしなかった その他()

(2) 相手方は調停(審判)の申立てをすることを知っていますか。

知っている 知らない これから話す予定

(3) 相手方は調停(審判)に出席すると思いますか。

出席すると思う 次の理由から出席しないかもしれない(複数回答可)

出席するかどうか分からない

- 出席しないと言っていた 仕事の都合
- 感情的で意地になっている 健康上の理由
- その他()

(4) 調停(審判)では、あなたと相手方の意見はどのような点で対立すると思いますか(複数回答可)

離婚するかしないか 子どもの親権者をどちらにするか 別居中の生活費の支払や額

養育費の支払や額 子供との面会や回数など 離婚するときの財産の清算について

慰謝料について その他()

(5) 以前にどちらかが家庭裁判所に申立てをしたことがありますか(保護命令の申立ては裏面へ)

ない ある ⇒ 今も続いている 終わった

※以下、分かる範囲でご記入ください。

申立ての時期 平成・令和 年 月頃 申立人 あなた / 相手方
 担当家庭裁判所 家庭裁判所 支部 平成・令和 年() 号
 申立ての内容 _____

(裏面へ続く)

2 相手方の暴力について (これまでに相手方から暴力を受けたことがある方におたずねします。)

(1) 暴力の内容(複数回答可)

殴る、蹴る 包丁など凶器を持ち出す 大声で怒鳴る、暴言、脅迫 物を投げる、壊す
子供や親族にも暴力を振るう その他()

(2) 暴力の回数

ほぼ毎日 週に 日程度 月に 日程度 これまでに合計 回程度

(3) 相手方の暴力で最近入院・通院したことがありますか。

時期:平成・令和 年 暴力の内容: 治療結果:通院 日/入院 日

(4) 相手方の暴力について、警察を呼んだり、警察に相談したことがありますか。

ない ある ⇒平成・令和 年 月頃

(5) 配偶者暴力に関する保護命令の申立てをしましたか。

これから申立てる予定 申立てをして、命令が発令された ⇒命令書の写しを提出してください。

申立ての予定はない 申立てをして、現在審理中である ⇒申立書写しを添付してください。

(申立日:平成・令和 年 月 日、審尋期日:平成・令和 年 月 日/未定)

(6) 相手方は、家庭裁判所であなたや職員に暴力を振るうおそれがありますか。ない ある(複数回答可)

私を見ると興奮してみさかいがなくなる 刃物や凶器を持ってくるおそれがある

私を捜し回ったり、待ち伏せしたりするおそれがある 私を連れ去ろうとするおそれがある

突然態度が変わって机を叩いたり、物を壊すおそれがある 第三者にも暴力を振るうおそれがある

酒や薬物を飲んでやってくる可能性がある (これまでに官公庁や他人の家で暴れたことがある)

3 家庭裁判所に対する要望について (ただし、ご希望に添えない場合もあります。)

調停(審判)期日について、該当するものに☑をしてください。

月曜日 午前(可 不可) 午後(可 不可) 火曜日 午前(可 不可) 午後(可 不可)

水曜日 午前(可 不可) 午後(可 不可) 木曜日 午前(可 不可) 午後(可 不可)

金曜日 午前(可 不可) 午後(可 不可) 特に都合の悪い曜日はない。

その他、すでに都合が悪いとわかっている日があればお書きください。

月 日(午前 午後 全日)、月 日(午前 午後 全日)

(都合が悪い日・曜日・時間帯の理由)

調停(審判)の進め方など、家庭裁判所への要望があれば記入してください。

令和 年 月 日 記入者氏名

平日午前9時から午後5時
までに連絡のとれる番号

【携帯・自宅】